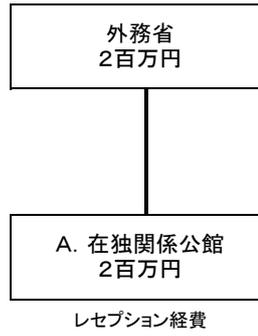


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日独交流150周年事業関係費		担当部局庁	欧州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始 ・平成23年度終了(予定)		担当課室	中・東欧課		課長 河津 邦彦	
会計区分	一般会計		施策名	I-4 欧州地域外交			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2011年は、1861年1月24日(万延元年12月14日)に江戸で日・プロイセン修交通商条約が署名されてから150年目の節目の年に当たることから、同年を「日独交流150周年」と位置づけ、これまでの日独交流を振り返るとともに、未来に向けた日独関係の構築を目指すべく、日独双方で各種記念行事を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「日独交流150周年」を祝賀するため、記念式典、シンポジウム及びレセプションを国内及びドイツにおいて実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	6	10	-
	執行額	-	-	2	-	-	
	執行率(%)	-	-	31%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	「日独交流150周年」を祝賀し、両国関係の一層の強化を図る。その効果全般を定量的に計ることは困難であるが、例えばこれら事業で多くの参加者が得られたほか、「150周年」の認知度の向上につながった結果、ヴルフ大統領が独側オープニング式典などに出席する、また日本の主要紙一面にて在京独大使のインタビューが掲載される等、二国間関係の強化につながった。		成果実績 <small>レセプション参加者数</small>	-	-	870	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	記念式典、シンポジウム及びレセプションを国内及びドイツにおいて実施		活動実績 (当初見込み) レセプション回数	-	-	5 (4)	-
単位当たりコスト	0.3百万円/回		算出根拠	執行額(2百万円)/レセプション回数(5回) (平成22年度)			
平成23・24年度 (単位:千円)予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	文化人旅費(外国旅費)	5,419	-	廃止			
	会議費	2,520	-				
	旅費(外国旅費)	2,374	-				
	旅費(内国旅費)	129	-				
	計	10,442	-				

事業所管部局による点検				
	評価	項目	特記事項	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年度予算として、本邦及び在外におけるレセプション費用を計上していたものの、本邦におけるオープニングレセプションは、1月24日、在京独大使館が同様の趣旨のレセプションを実施したことを受け、実施せず。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。		
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、用途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		平成23年1月19日にベルリンにて開催された日本側オープニング式典は、ヴルフ大統領、ヴェスターヴェレ外相出席の下、盛大に行われ、日独の長きにわたる友好協力関係を象徴する行事となった(日本より伴野副大臣が出席)。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	本事業については平成23年度をもって終了予定。			
予算監視・効率化チームの所見				
廃止	廃止			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
廃止				
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)				

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会食費	レセプション経費	2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	在ドイツ大使館	レセプション経費	0.4		
2	在ミュンヘン総領事館	レセプション経費	0.4		
3	在フランクフルト総領事館	レセプション経費	0.3		
4	在ハンブルク総領事館	レセプション経費	0.3		
5	在デュッセルドルフ総領事	レセプション経費	0.2		
6					
7					
8					
9					
10					